

令和6年度 社会福祉法人 山梨市社会福祉協議会 事業報告書

令和6年度は、策定から3年目となる第3次山梨市地域福祉活動計画の基本目標を達成するため、経営基盤の強化を図りながら、各種施策を展開しました。

基本目標1の「地域の身近な福祉課題に気づき、行動できる人材づくり」では、地域福祉に関する広報活動強化のため、ホームページをリニューアルしましたので、今後は、見やすさや、伝わりやすさを工夫しながら、地域福祉活動を実践している団体の活動も含め広く周知してまいります。市民後見人の養成のため、実務研修を実施し、修了した8名が、市民後見人バンクに登録を行いました。登録者のうち3名を本会の支援員として採用し、実践を積んでいくことになります。

基本目標2の「お互いが見守り、支え合い、つながる地域づくり」では、地区社協が実施する地域福祉活動への支援のため、地域福祉コーディネーターを中心に、地区担当職員が地域に出向き、地域のお宝発見や社会資源の把握に努めました。今後は、市高齢者介護支援課と連携し、地区社協を中心とした住民同士の支え合い活動の支援を行ってまいります。また、地域の生活課題は、地域で解決できる仕組みとして、地域のちょっとした困りごとを有償ボランティアがサポートする「生活支援サポート事業」を創設しました。併せて、生活支援サポーター養成事業を開催し、協力会員の登録を行ないました。

基本目標3の「地域で安心して暮らせる仕組みづくり」では、災害時における被災者支援体制を強化するための災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂を行いました。今後は、実践力を高めるため、設置運営訓練の実施を、次年度の最重要事項として取り組んでまいります。

「障害者相談センターちどり」では、事業所の移転に伴い名称を「相談支援センターばいん」に改名し、利用者の権利と人格を尊重し、地域の一員として自分らしい生活を営むことができるよう自立支援に資する質の高いサービスを提供する体制を整えました。

「山梨訪問介護事業所」では、介護報酬マイナス改定を受け全国で事業所の閉鎖が相次ぐ中、報酬を大幅に伸ばすことができ、併せて職員の処遇改善にも取り組むことで安定的な運営を行いました。

指定管理施設の「老人健康福祉センター」については、次期指定管理の受託の検討を行い、施設の老朽化に対するリスク回避のため、受託しないこととしました。

I 法人経営部門

① 会員募集・会費徴収事務

地区社協活動をはじめ、地域福祉活動の円滑な運営のため、区長（自治会長）様、組長様方のご協力をいただき、普通会员や賛助会員の募集を行い、自主財源の確保に努めました。

- ・普通会员 9,314 世帯 9,314,000 円
(前年度比△122 世帯、△109,500 円)
- ・賛助会員 159 事業所 1,086,000 円
(前年度比△4 事業所、△43,000 円)

② 理事会・評議員会の開催

- ・理事会 令和 6 年 6 月 10 日、8 月 23 日、11 月 11 日、
令和 7 年 1 月 15 日、2 月 5 日、3 月 25 日
- ・評議員会 令和 6 年 6 月 24 日、令和 7 年 3 月 25 日

③ 財務・労務・人事等の管理運営

- ・令和 5 年度事業・会計監査の実施 令和 6 年 5 月 30 日
- ・令和 6 年度上半期事業・会計監査の実施 令和 6 年 10 月 28 日
- ・税理士による月例監査（年 12 回）決算時監査（年 1 回）の実施

④ 役職員等の研修

令和 6 年 8 月 23 日、理事会開催後公益財団法人さわやか福祉財団常務理事鶴山芳子様を講師に迎え「地域のつながりと支えあいの心に満ちたまちづくり」と題し、地域づくりについての研修を実施しました。

令和 7 年 1 月 15 日、理事会開催後「理事・監事の職務について」と題し理事、監事の職務、責任についての研修を行いました。

⑤ 火災等被災者の見舞活動

市民の皆様が火災等で被害を受けた場合、福祉の増進を図ることを目的に本会慶弔規程により災害見舞金を支給しました。

- ・令和 6 年度は、2 件の火災（全焼 10,000 円）

⑥ 中期経営計画の進捗管理

経営の基盤となる組織、財務、事業に関し、改めて、課題、将来の

方向性を明らかにし、必要な取り組みを計画的に推進する中期経営計画を定めています。これにより、経営の安定化を図り地域福祉を推進する団体として、役割を果たせるよう、課題解決の具体的な取り組みを示す「第3次山梨市地域福祉活動計画」の推進に努めています。

なお、令和6年度は、第3次山梨市地域福祉活動計画の中間期であり、地区社協並びに評価委員会において計画の進捗状況の評価を行いました。

Ⅱ 地域福祉活動推進部門

1. 地域福祉活動事業

(1) 地域福祉の推進

①地区社協活動の支援・育成

地域共生社会の実現に向け、小地域活動の担い手である地区社協においては非常に大切な役割を担っており、社協会費や赤い羽根共同募金の配分金などを原資として助成を行いました。

また、地区担当職員を配置し、生活課題に直面している人の代弁者として「声なき声を聴き」課題解決に取り組めるよう、まずはその地域を知ることから取り組みを進めました。

②地域福祉大会・ボランティア大会の開催

少子高齢社会に於ける相互支え合いの地域づくりの気運を高めるため、関係者の参集のもと、令和6年11月30日（土）に山梨市市民会館において、第20回山梨市地域福祉大会・第16回山梨市ボランティア大会を開催しました。

第1部の地域福祉大会では、山梨市福祉善行賞表彰基準による1個人、山梨市社会福祉協議会表彰規程による1個人また、1個人に対して、感謝状を贈呈しました。第2部では、さわやか福祉財団から鶴山芳子さんをお招きし、「つながって笑顔で暮らす地域づくり」をテーマに講演をしていただきました。第3部のボランティア大会では、5つのステージ発表と4つのバザー及び出店を行いました。

また、昼食時には山梨市赤十字奉仕団の協力のもと、アルファーマの非常食を提供しました。

③広報啓発

本社協の事業を広く市民の皆様に発信するため、「広報やすらぎ」

を発行、市内全戸、関係機関に配布をしました。

また、ホームページや、Instagram（インスタグラム）を活用した情報発信も行っており、特にホームページにつきましては、サイト構成やデザインを全面的に変え、令和7年4月からホームページをリニューアルしました。

・広報やすらぎ 発行5月、9月、12月、2月（各12,000部）

④地域福祉活動計画の進行管理

市社協として取り組む各活動においては評価票を基に、令和5年度までの進捗状況の確認と、令和6年度以降に取り組む内容の確認を行いました。地区社協としての取り組みに対しては、地区社協役員会等に地区担当職員が同席し、地区活動等の支援を行いました。

⑤住民同士の支え合い活動の推進

各地区社会福祉協議会や区長・民生委員児童委員等の企画運営により、各地区において、ふれあい・いきいきサロンが開設され、地区社会福祉協議会を通じ、支援・助成を行いました。助成金は、共同募金配分金などを活用しました。

(2) 高齢者福祉の推進

①敬老慶祝事業

会長、市老人クラブ連合会長らが、新100歳の方30人を訪問し、慶祝品を贈り長寿を祝いました。また、満88歳の方223人へ慶祝品を贈呈しました。

②市老人福祉大会への協力

高齢者福祉において功績のあった方々を顕彰し、高齢者福祉の一層の向上を図るため、令和7年2月5日の第20回山梨市老人福祉大会の開催へ協力しました。市長表彰5名 ちどりクラブ会長表彰3名

③各種福祉活動用具等の管理貸出

貸出要綱を定め、市内で活動するボランティア団体や、いきいきサロン等へ、レクリエーション用具の貸し出しを行いました。

(3) 母子・父子世帯福祉の推進

ひとり親家庭一日行楽事業

11月3日にひとり親家庭一日行楽事業を実施しました。(行先：東京ディズニーランド・34人参加)

(4) 障害者福祉の推進

在宅障害(児)者生きがい事業

2月16日に在宅障害児・者一日行楽を実施しました。(行先：ふじのくに茶の都ミュージアム他・8名参加)

精神保健福祉ボランティアぬくもり他、多数のボランティアの方に協力をいただき、さつま芋収穫祭(10月8日・34人参加)を実施しました。

(5) 災害時福祉救援対策事業

①防災啓発・研修事業

県社協において実施された災害研修や、能登半島地震における災害ボランティアセンターへ職員を派遣。現地での実務の状況を広報で発信しました。

②災害ボランティア養成事業

・災害VC運営協力者の養成、組織化

災害地への職員派遣、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しが中心となり、災害ボランティア養成事業への着手ができませんでしたが、次年度以降は、災害ボランティアセンターのスタッフとして、活動していただける方に向けた災害ボランティアセンター協力員養成講座を計画していきます。

③災害VC設置・運営訓練

災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しを行っており次年度以降、災害VC設置・運営訓練を計画しています。

2. ボランティア市民活動センター事業

①相談・登録・斡旋事業

ボランティア活動を始めたい方や、ボランティアによる支援を受けたい方、また、学校等で開催される福祉講話等に対する相談・あっ旋を行いました。

・ボランティア登録者数 86人

・ボランティア登録団体数 15団体・会員数 861人

②ボランティア入門講座開催事業

ボランティアチャレンジ 2024 を開催しました。

- ・手話体験 2回(61人)
- ・認知症(キッズ)サポーター養成講座 2回(25人)
- ・ユニバーサルデザインを考えよう 2回(24人)
- ・赤十字ボランティア 2回(40人)

③ボランティア養成講座開催事業

- ・手話奉仕員養成講座(全40回、受講者18人、延べ595人)
- ・朗読講習会(全3回、受講者6人、延べ15人)
- ・傾聴ボランティア養成講座(全3回、受講者13人、延べ24人)
- ・レクリエーション講習会(全3回、受講者35人、延べ51人)

④福祉のこころ醸成事業

市内全小学校区に福祉教育推進委員会を設置し、地元小学校の協力を得て、地域の特色を活かし、学校の教育課程とも連携しながら、子どもまつりや交流事業、福祉講話、昔の遊び集会などを実施しました。

- ・加納岩地区 昔の遊び集会(1年生)、福祉講話(3年生)
交流グラウンドゴルフ大会(6年生)、縦割り集会(全児童)
- ・日下部地区 福祉講話(3,4年生)、交流グラウンドゴルフ大会(6年生)
- ・八幡地区 昔の遊び(1,2年生)、福祉講話(4年生)、交流グラウンドゴルフ大会(6年生)きりっこ祭り(全児童)
- ・山梨地区 バリアフリー教室(4年生)、ろう学校との交流、ふれあいまつり(全児童)
- ・日川地区 老人福祉大会参加(4年生)、福祉体験(5年生)
ふれあいゲートボール(6年生)、音楽鑑賞(全学年)
- ・後屋敷地区 昔の遊び教室(1年生)、バリアフリー教室(3年生)交流グラウンドゴルフ大会(6年生)、児童発達支援センターひまわり訪問(6年生)
- ・岩手地区 福祉講話(3~4年生)、工作教室(3~6年生)、グラウンドゴルフ大会(全児童)、昔の遊び・花いっぱい運動(全児童)

- ・笛川地区 保護者ボランティア読み聞かせ（1～3 年生）、令和吉祥太鼓・いじめ防止事業（4～6 年生）、ふれあいグラウンドゴルフ大会（6 年生）、こどもまつり・6 年生を送る会（全児童）

⑤ボランティアコーディネーターの配置

ボランティア活動を始めたい方や、ボランティアを受けたい方などの連絡調整や、ボランティア活動の普及・啓蒙のための業務を行いました。また、各種ボランティア市民活動グループの活動援助を行いました。

⑥ボランティアグループの組織化の推進

様々な分野のボランティアや市民活動に取り組んでいるグループや、団体の相互連携を図っていく組織として、山梨市ボランティア連絡会があり、14 団体、1 個人の活動を支援しました。

⑦声の広報事業

朗読ボランティアの協力を得て、市広報、市議会だより、社協広報、新聞コラム等を録音、ダビングし、視覚障害者(5 人)へ情報提供を行いました。

3. 共同募金・歳末たすけあい事業

(1) 共同募金配分金事業

共同募金配分金事業により、地域における各種福祉事業を展開するため、次の事業を関係諸団体ともに実施しました。

①地域社会福祉事業

・敬老慶祝品贈呈事業

老人福祉月間における敬老慶祝事業を次のとおり実施しました。

会長、市老人クラブ連合会長らが、新 100 歳の方 30 人を訪問し、慶祝品を贈り長寿を祝いました。また、満 88 歳の方 223 人へ慶祝品を贈呈しました。

②あったかサービス事業

・ふれあい・いきいきサロン事業

ふれあい・いきいきサロン運営のための協力、活動への助成を行いました。

- ・置数 62 か所
（山梨地域 37 か所、牧丘地域 18 か所、三富地域 7 か所）
- ・延べ開催回数 597 回
- ・延べ参加者数 7,988 人

③安心・安全なまちづくり支援事業

- ・災害ボランティア啓発事業
山梨市赤十字奉仕団と共催で、災害に対する啓発事業への助成を行いました。
- ・赤十字救急法基礎講座 2 回 17 名
- ・赤十字防災セミナー「災害への備え」 1 回 32 名

④みんなで地域をよくする事業

- ・地域協働事業
地域共生社会の実現に向け住民主体の地域づくりに関する事業に助成を行いました。
令和 6 年 8 月 23 日開催の理事会において、さわやか福祉財団の鶴山芳子様を講師に迎え、地域づくりについて研修を行いました。また、各地域で行われている様々な行事や取り組み、地区社協の役員会などに地区担当職員が直接出向き、地域活動状況の把握に取り組みました。
- ・市内 11 地区 延べ 26 回訪問

⑤市町村社協地域福祉活動事業

- ・地域福祉大会開催事業
地域福祉推進のため地域福祉大会への助成を行いました。
- ・福祉のこころ醸成事業
市内の各小学校で福祉のこころを育てる、福祉教育を推進するため助成を行いました。
- ・ボランティア教育の推進事業
市内の小学生から高校生まで、ボランティア体験の為の事業へ助成を行いました。

⑥地区社協等小地域福祉活動事業

- ・牧丘地域福祉運動会開催事業
令和 6 年 10 月 19 日(土)笛川中学校において牧丘地域福祉運動会を開催しました。

- ・三富地域福祉運動会開催事業

令和6年10月12日(土)旧三富小学校において三富地域福祉運動会を開催しました。

⑦地域福祉活動団体推進事業

- ・高齢者健康・スポーツ大会開催事業

ちどりクラブ連合会が実施するグラウンドゴルフ大会、健康スポーツ事業等への助成を行いました。

- ・障がい者スポーツ大会開催事業

障害者福祉会が実施する事業への助成を行いました。

- ・ボランティアグループ活動支援事業

市内で活動するボランティア団体へ助成を行いました。

(2) 歳末たすけあい事業

- ・歳末激励訪問事業

歳末たすけあい募金運動と、見守りと声かけのための訪問を各地区社協評議員の協力のもと激励訪問活動を行いました。

- ・生活困窮世帯 14 戸
- ・ねたきり高齢者 9 人
- ・85 歳以上のひとり暮らし高齢者 274 人

4. 福祉団体事務事業

①山梨市ちどりクラブ

会員加入促進のため、愛称を「山梨市ちどりクラブ」に選定しました。理事会、女性委員会の開催、健康・生きがいつくり事業（いきいき百歳体操の普及、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、スポーツ大会、手芸教室、高齢者作品展）の開催、高齢者友愛訪問事業等の受託、健康づくり予防運動・寝たきりゼロ運動の推進、県老連等の事業への参加・協力を行いました。

②山梨県共同募金会山梨市共同募金委員会

共同募金（家庭・街頭・職場・大口事業所募金等）の受付事務、配分金の申請・審査等の事務、歳末たすけあい事業の推進、募金受付。

また、運営委員会を実施しました。（配分申請、内容、募金運動計画の検討及び承認）

③日本赤十字社山梨市地区

赤十字会員の入退会及び会費の徴収、災害時救援物資の管理や罹災

世帯への配付、赤十字奉仕団活動（自主研修会の実施、県支部活動や市防災訓練、地域福祉社会活動、県支部研修会）の推進、国内外災害義援金等の受付・送金等に取り組んできました。

④山梨市障害者福祉会

総会、理事会、役員研修会の開催、スポーツ大会、グラウンドゴルフ記録会、ニュースポーツ交流会、手芸教室の開催、県身体障害者連合福祉会事業への参加、協力してきました。

Ⅲ相談支援・権利擁護部門

1. 日常生活自立支援事業

基幹的社協（事業の一部を県社協から委託されている社協のこと。）として、山梨市内において軽度認知症高齢者や知的障害・精神障害者等で自己決定能力が低下しているため、金銭管理や各種福祉サービスなどを適切に利用することが不安な方等に対し、以下①、②をメインに相談・調査・支援を行いました。

①福祉サービス利用援助

②日常的金銭管理、書類等預かり

・相談調査支援件数 842 件 ・新規契約締結件数 4 件

③専門員及び生活支援員の配置

専門員及び生活支援員計4名を配置し、定期的に情報共有の場を持ち、支援業務を行った。

④市民生活支援員の配置

市の市民後見人養成講座と連携しながら、市民生活支援員の配置体制を整えた。

2. 生活困窮者自立支援事業

家計改善支援事業

生活困窮者自立支援制度の一環として、家計改善支援事業を行いました。定期的に面談を行い、家計表の作成を通じて「家計が見える化」することにより、相談者とともに生活課題の解決に取り組みました。

・利用者数 10 名

3. 資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象として、経済的自立と生活の安定を図ることを目的として、賃金の貸付けにかかる相談を行いました。また、民生委員児童委員への協力を得て相談受付や借入者の償還指導を行いました。

・相談件数 39 件 新規貸付 0 件

②特例貸付に係る相談支援事業

緊急小口資金、総合支援金借入者に対し、相談受付を行うとともに、必要な機関へつなぎ、生活の安定を図るための支援を行いました。

③社会福祉資金貸付事業

生活の維持が困難な老人世帯、母子世帯、障害者世帯及び生活保護世帯を除く低所得世帯を対象に、生活の安定を図ることを目的に事業を行いました。

・相談件数 0 件 新規貸付 0 件

4. 法人後見事業

①後見事務事業

認知症、知的障害、精神障害のある方など判断能力が低下喪失している方が不利益を受けないよう、身上保護と財産管理を行いました。

令和 7 年 3 月 31 日現在で、後見類型 3 件、保佐類型 1 件、補助類型 1 件を受任しました。

②法人後見運営委員会の開催

法人後見事業を適正に進めるために、12 月 19 日に法人後見運営委員会を開催しました。

③市民後見人養成実務研修事業

山梨市成年後見支援センターと連携し、市民後見人養成講座実務研修を実施し 8 名の方の市民後見人バンク登録者が誕生しました。

IV 介護・生活支援サービス部門

1. 介護保険サービス事業

①訪問介護事業

自宅で生活されている高齢者のお宅へホームヘルパーが伺い、各

利用者の有する能力に応じ、可能な限り自立した生活を自宅で営むことができるよう、身体介護及び生活援助等のサービスを提供しました。

・利用者 5,233 人/年（前年度比 +2,360 人）

②訪問介護（総合）事業

要介護状態にならないための予防を目的に、要介護認定（要支援 1 もしくは 2）を受けている方、もしくは事業対象者で、ご自宅で生活している方を対象に訪問介護のサービスを提供しました。

・利用者 1,099 人/年（前年度比 +360 人）

2. 障害福祉サービス事業

①居宅介護（ホームヘルプ）事業

日常的に支援が必要な障害者の自宅にヘルパーが訪問し、家事援助のサービスを提供しました。

②同行援護事業

外出などの移動が困難である視覚障害者に同行援護従事者が寄り添い、外出時の情報提供、代筆・代読、身体介護、移動支援などのサービスを提供しました。

・障害福祉サービス事業利用者 897 人/年
（前年度比 +264 人）

3. 山梨市障害者等相談支援事業

障害者相談センターちどりを山梨市老人健康福祉センター内に開設し、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営めるよう各種相談に応じました。なお、令和 6 年度末での山梨市老人健康福祉センターの指定管理業務終了に伴い、同センター3 階から令和 7 年 3 月に小原西地内の物件に移転しました。移転に伴い事業所名も「相談支援センターぱいん」に変更しました。

・相談件数 延べ 1,569 件、148 人（前年度比△404 件、+3 人）

・精神障害 715 件、身体障害 143 件、知的障害 345 件、重症心身障害者 25 件、重複障害 79 件、発達障害 68 件、高次脳機能障害 1 件、障害児 193 件

①障害者基本相談

障害者本人や障害児の保護者等からの生活上の総合的な相談に対応しています。面接・訪問・電話及び文書等による初期相談や地域の

相談支援事業所では対応できない個別事例にも対応してきました。

②障害者計画相談

障害福祉サービス利用に向けたサービス等利用計画の作成や、計画が利用者にとって有効に機能しているかを検証するため定期的なモニタリングも行ってきました。

③障害支援区分認定調査業務

障害支援区分の判定等のため、本人及び保護者等の面談をし、認定調査を行ってきました。

- ・ 障害支援区分認定調査 141 件（前年度比△6 件）

4. 無料法律相談開催事業

弁護士による無料法律相談の開催 31 件

5. 高齢者地域支援事業

①高齢者生きがい活動支援通所事業

牧丘町総合会館会議室において、在宅高齢者の生きがいや、自立した生活の確保を図るため、体操、手芸、歌やレクリエーション等を行い、介護予防活動を行いました。

- ・ 実施日数 50 回 年間延べ利用者数 562 人

②高齢者外出支援サービス事業

車いす生活者が、在宅福祉サービスを提供する場所や、医療機関や福祉施設などへ通院(所)するため、外出支援サービスを受託しましたが、令和 6 年度は利用実績がありませんでした。

6. 老人健康福祉センター指定管理事業

老人健康福祉センターの管理運営

高齢者の憩いの場として老人健康福祉センター(ちどり)の管理運営について市から指定管理を受け運営してきました。令和 6 年度においては、5 月 7 日から老人健康福祉センターの運営時間を午後 8 時まで延長し、夜間営業を再開、7 月 7 日には施設利用者による七夕短冊の飾りつけを実施、9 月 16 日（敬老の日）には、特別開館をし、60 歳以上の方の無料開放を行い、より親しみを持って利用していただける施設として努めてまいりました。

平成 8 年の開館から継続して指定管理業務を受託してきましたが、施設においては 29 年が経過しており建物、温泉設備の老朽化・経年劣化が進み次期指定管理業務において辞退しました。

- ・年間延べ利用者数 39,646 人
(1 日平均 134.4 人、前年度比+13,830 人)

7. 児童センター指定管理事業

市立児童センター 3 館の管理運営

児童センターは、0 歳から 18 歳未満までの子どもと、その保護者の方が利用できる施設です。子どもたちの健全な遊び場として、自主的な活動や遊び、センターで計画する行事への参加などを通じて、心身ともに豊かで、健康的な子どもたちの育成を目的とし指定管理業務を行ってきました。

- ・加納岩児童センター 年間延べ利用者数 3,736 人
- ・日下部児童センター 年間延べ利用者数 3,027 人
- ・山梨児童センター 年間延べ利用者数 1,604 人

8. 放課後児童健全育成事業

学童クラブ 5 箇所の運営

放課後、保護者及び同居家族の就労等により、留守家庭となる児童に対し、集団活動を通じて児童の健全な育成及び豊かな情操を育む生活習慣を習得させることを目的とした学童保育を受託しました。令和 5 年度から以下、5 学童のみの受託となっています。

- ・保育児童登録者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）
加納岩(44 人)、加納岩おおとり(32 人)、日下部第一(50 人)、
日下部第二(27 人) 山梨(31 人) 計 184 人
- ・土曜日学童保育児童登録者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）
加納岩学童クラブ(14 人)、日下部第一学童クラブ(21 人)、
計 35 人

※令和 6 年度は、加納岩、日下部のみで開所

9. 生活支援サポート事業

在宅での自立生活支援（有償ボランティア活動）

要支援 1、2 又は、障害者のみの世帯を対象に、ちょっとした困りごとを住民主体の支え合いの仕組みで解決できるよう生活支援サポ

ート事業を開始しました。

協力会員 5 名及び 1 団体 利用会員 1 名 （活動実績 延べ 5 件）
なお、活動していただけるサポーターの輪を広げるために、山梨市生活支援サポーター養成講座を開催しました。

・ 1 月 21 日、23 日、28 日、30 日 全 4 回 延べ 10 名参加